

2015年の回顧と2016年の展望

「景気低迷期だから見えてくるビジネス機会」

～経済回復期はいつか？日系企業はどう備えるか～

ブラジル日本商工会議所 食品部会

2016年2月25日(木)

目次

- ◆ 2015年業界動向
- ◆ 原材料動向
- ◆ 2016年の展望
- ◆ 第二回日伯農業・食料対話に向けて

2015年の業界動向

◆ 国内市場概況

- ・2014年末から始まった経済情勢の悪化が消費マインドに影響を与え、不況期でも相対的には底堅い食品市場ではあるものの、全体として内食、外食市場ともに低調。
- ・低価格指向が強まり、嗜好品への支出を抑制する傾向が出ている。
- ・輸入食材の販売は、レアル安による輸入価格の上昇により厳しい状況にある。
- ・輸出食材等は、レアル安の追い風を受け堅調。

2015年の業界動向

<飲料>

- ・発酵乳飲料 98%(数量ベース前年比)
- ・果汁飲料 108%(同上)
- ・粉末ジュース 105%(金額ベース前年比)

<調味料>

- ・調味料市場 106%(金額ベース前年比)

<スープ>

- ・粉末スープ市場 98%(金額ベース前年比)

2015年の業界動向

<コーヒー>

- ・国内消費は概ね前年並み。
- ・低価格指向が顕著に表れている。

<即席めん>

- ・食数ベースで前年比96%相当。
- ・昨年前半まで需要をけん引していた低所得者層の購買の需要低下の影響が大きいと予測。

2015年の業界動向

＜畜肉・畜肉加工品＞

- ・日本側の好調な需要に下支えされ、畜肉品の輸出は高水準で推移。
食品部会所属会社の日本向けブロイラーは前年比120%と伸長。
- ・飼料穀物の豊作による生産コスト軽減やリアル安によりブラジル産鶏肉の輸出競争力が向上。
- ・2015年末にはブラジルから日本向けの牛肉加工品、また日本からブラジル向けの牛生肉の解禁が発表され今後に期待。

2015年の業界動向

<チョコレート>

- ・ブラジルでは嗜好性食品ではないと言われるチョコレートも近年稀なるマイナスもしくはゼロ成長となった模様。

<加工油脂>

- ・チョコレート原料であるココアは2014年後半からの高値を維持し、ココアバター代用脂には好条件だったが、チョコレートの消費低迷に伴い、対前年で販売数量は減少。

2015年の業界動向

<清酒>

- ・ブラジルでの酒ピリーニャの市場拡大により、経済環境低迷の中でも市場は横ばい。

<香料>

- ・食品部会所属会社では、数量の多い飲料向けは低調だったが全体として成長を確保。

2015年の業界動向

<種苗>

- ・世界的にM&Aが進んだ一年となった。
ブラジル種子業界においては、需要は安定していたもののレアル安による輸入価格の高騰で収益が圧迫された。
- ・食品部会所属企業においては、販売は大きく成長、利益も成長したが、人件費や各種費用が利益を圧迫。

2015年の業界動向

<タバコ>

- ・総需要は規制や景気の影響から3-5%減を見込む。

食品部会所属会社では販売好調なるも、リアル安等が利益を圧迫。

<日本食材>

- ・日本食の広がりにより底堅い一方、リアル安により値上げを余儀なくされる傾向にあり、輸入販売は前年を下回る食材が多い。

2015年の業界動向

< 外食産業 >

- ・外食市場の伸長率は、2014年の124%に対し109%と鈍化。

< 輸出 >

- ・食肉、濃縮果汁の輸出はレアル安が貢献し好調。
- ・特に鶏肉、豚肉は日本向けが好調に推移

2015年の業界動向

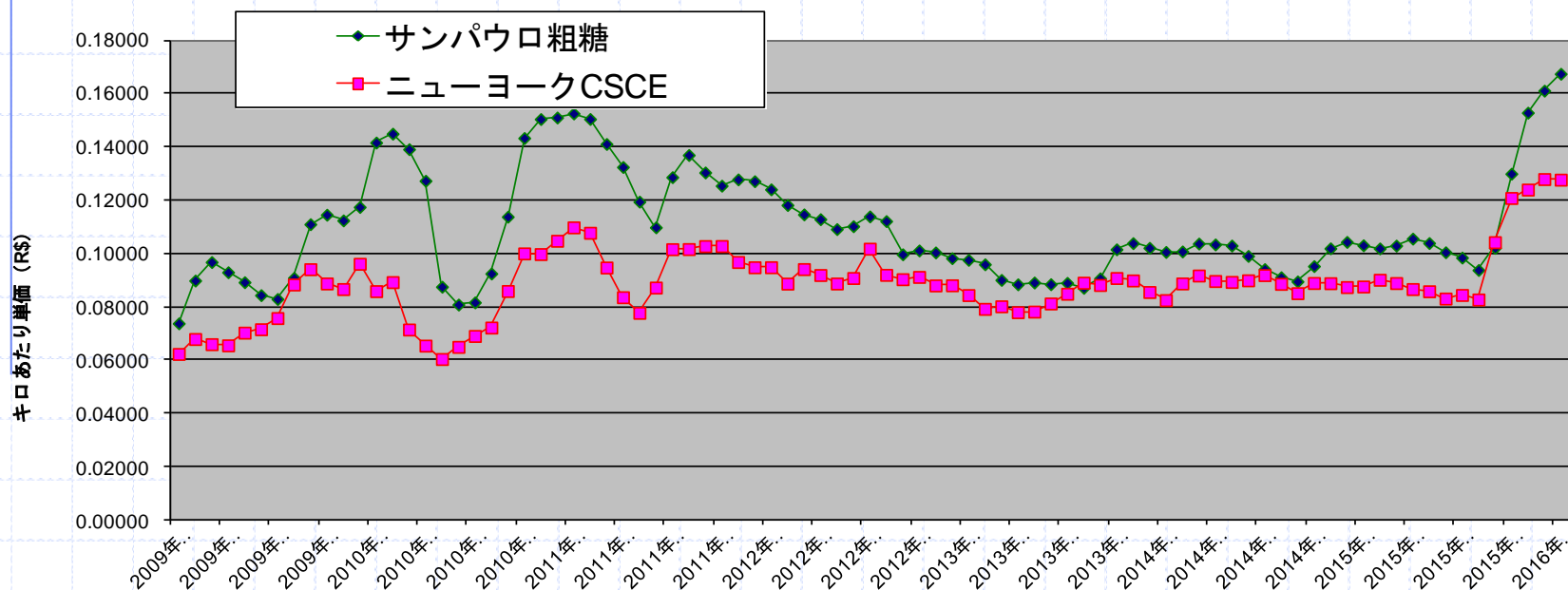
◆ 利益面の状況

- 輸入原材料の値上がり-マイナス要因
- 原材料の国際価格低下傾向-プラス要因
- 電気代、人件費が収益へ大きく影響

原料動向

砂糖相場の推移(2009～)

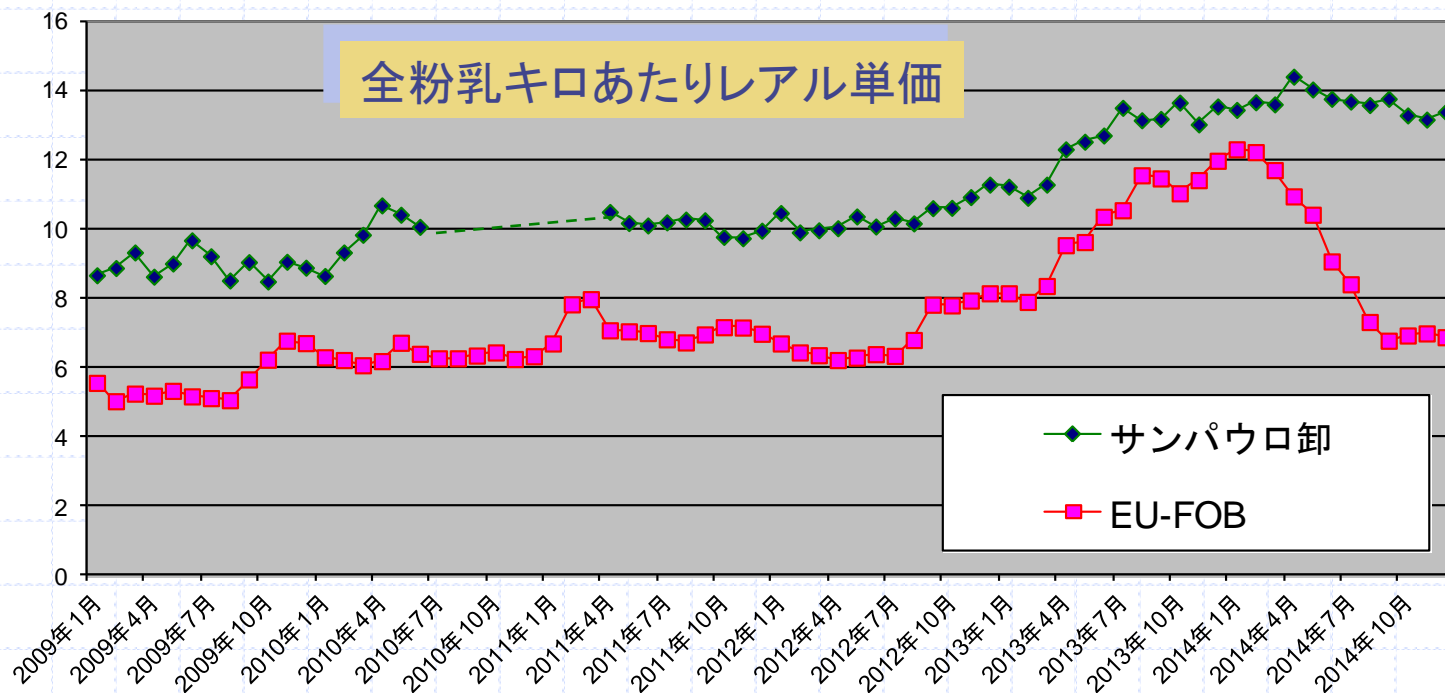
粗糖キロあたりリアル単価



◆2012年以降、サトウキビ生産増に伴い相場は下落かつ安定していたが、2015年後半より異常気象による収穫減懸念に加え、リアル安の影響で相場は急上昇。

原料動向

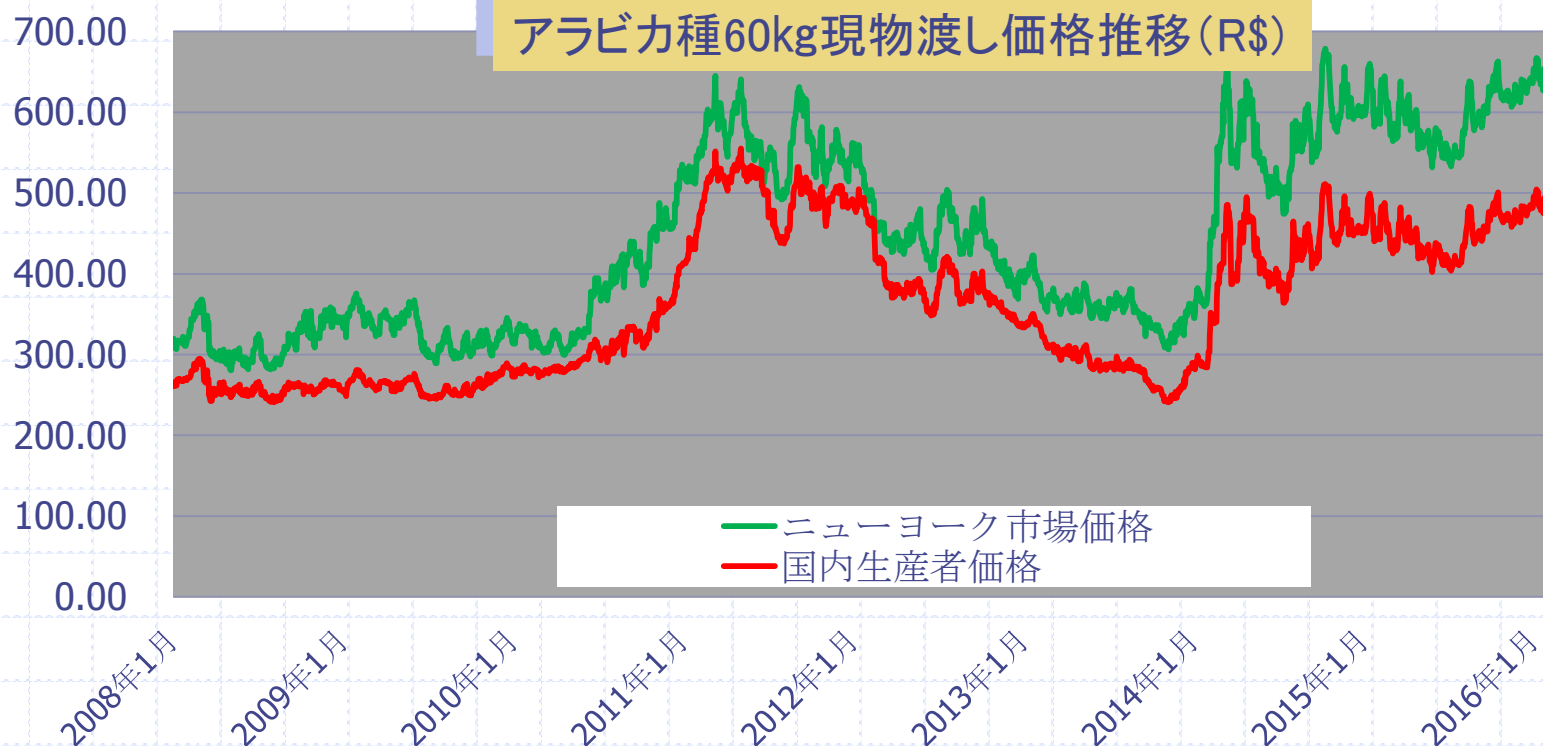
乳相場の推移(2009～)



◆乳製品価格は2013年には一大供給地域オセアニアで干ばつによる大不作となり高値のピークを付けた。2014年に入ってから供給増大策が功を奏し国際的には大きく下落、2012年以前の水準に戻ったものの、国内への影響は限定的。

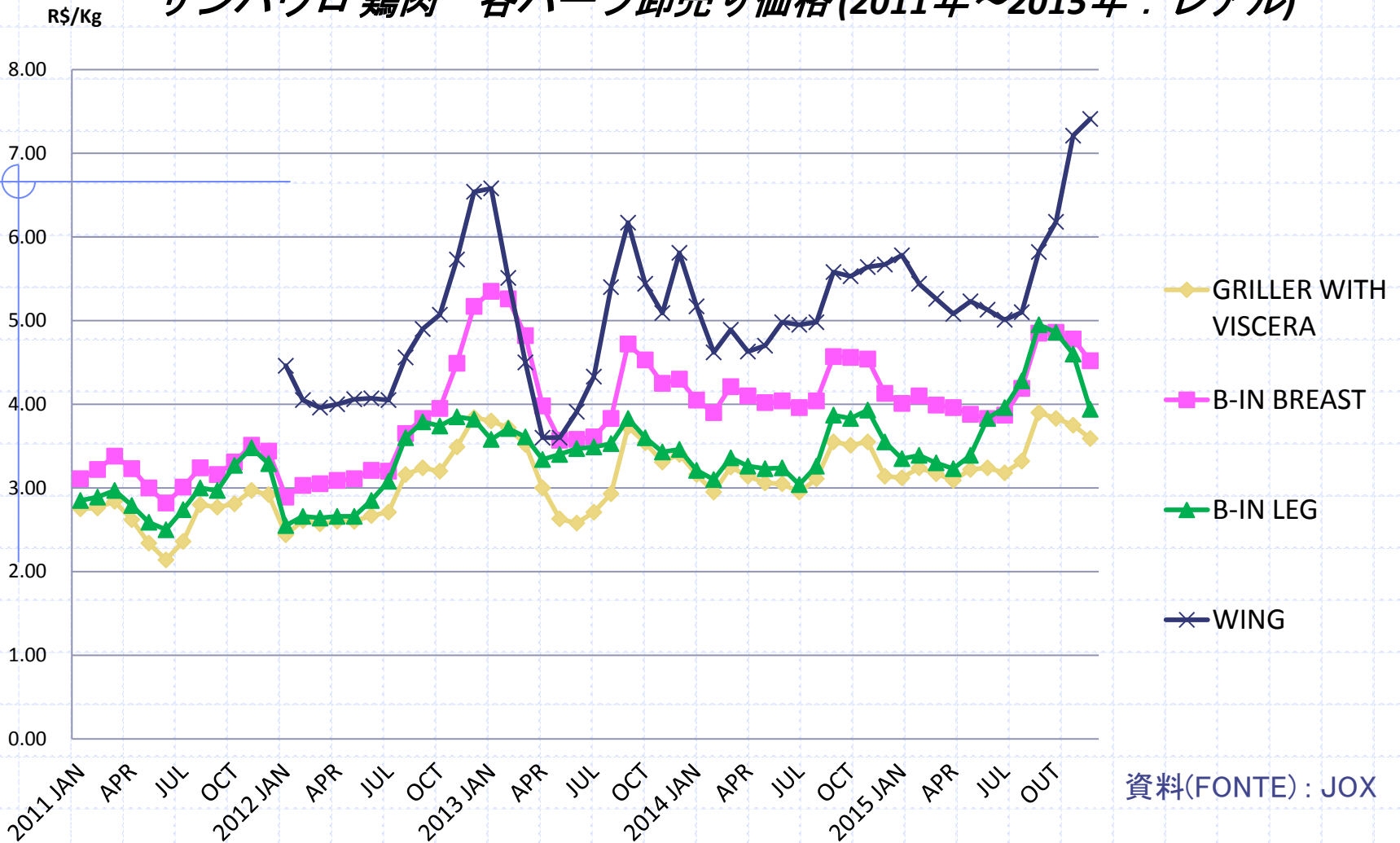
原料動向

コーヒー相場の推移



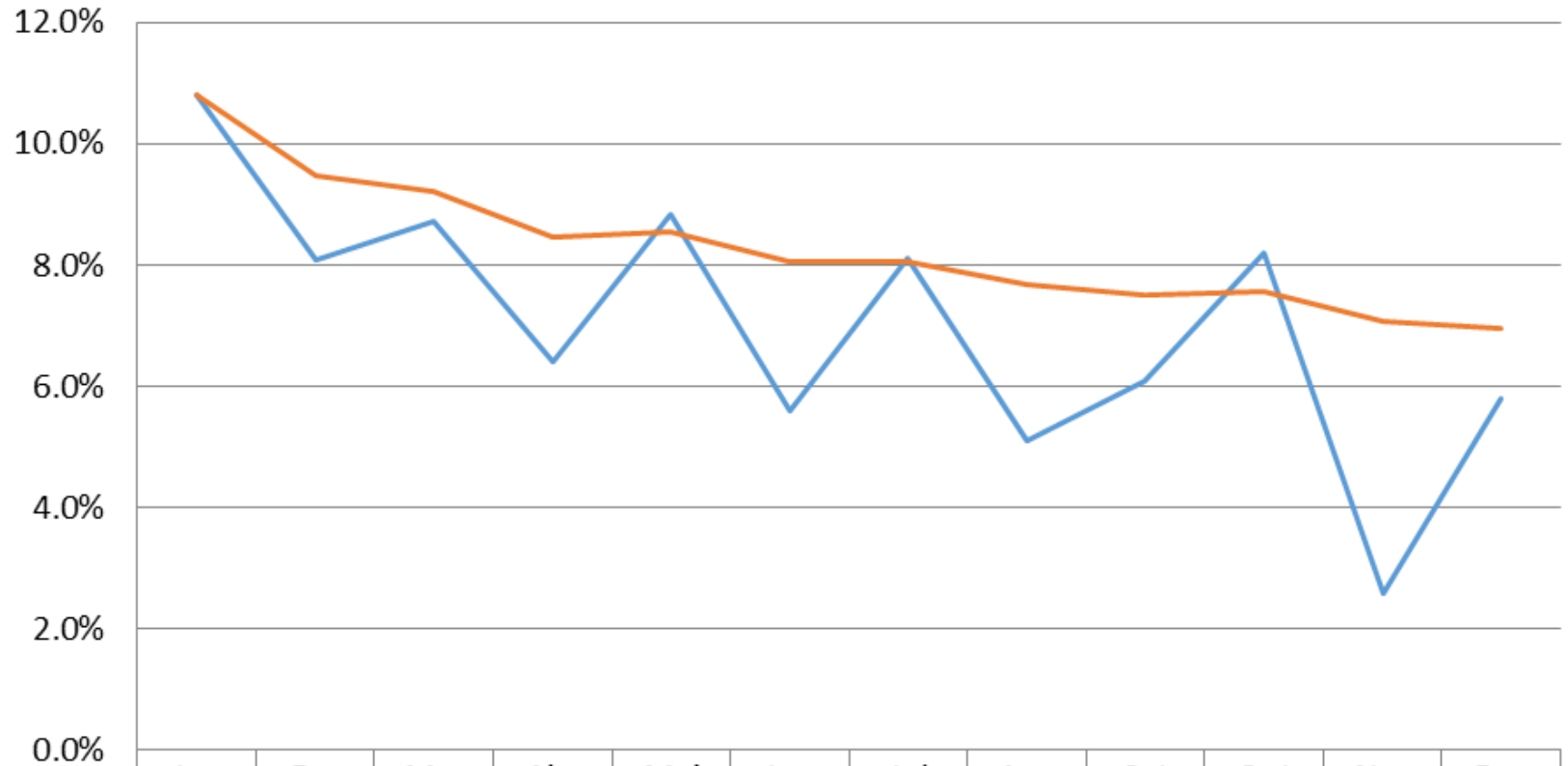
◆2015年下期、ブラジルの国内相場は500レアルと比較的高値で推移した。レアル安の影響により輸出競争力が飛躍的に増し、海外市場からの旺盛な買いが入ったもの。2016年はブラジルでは豊作が見込まれているものの引き続きレアル安の影響根強く、高値安定を予想。

サンパウロ 鶏肉 各パーツ卸売り価格(2011年~2015年：リアル)



東南アジア(特に中国)向けに輸出の好調なWING(手羽)の価格が高騰している。国内相場では、B-IN BREAST(骨付きムネ肉)・B-IN LEG(骨付きモモ肉)が過去5年間の最高値を更新したが、景気後退から高値圏への嫌気の影響を受け、価格も下落。

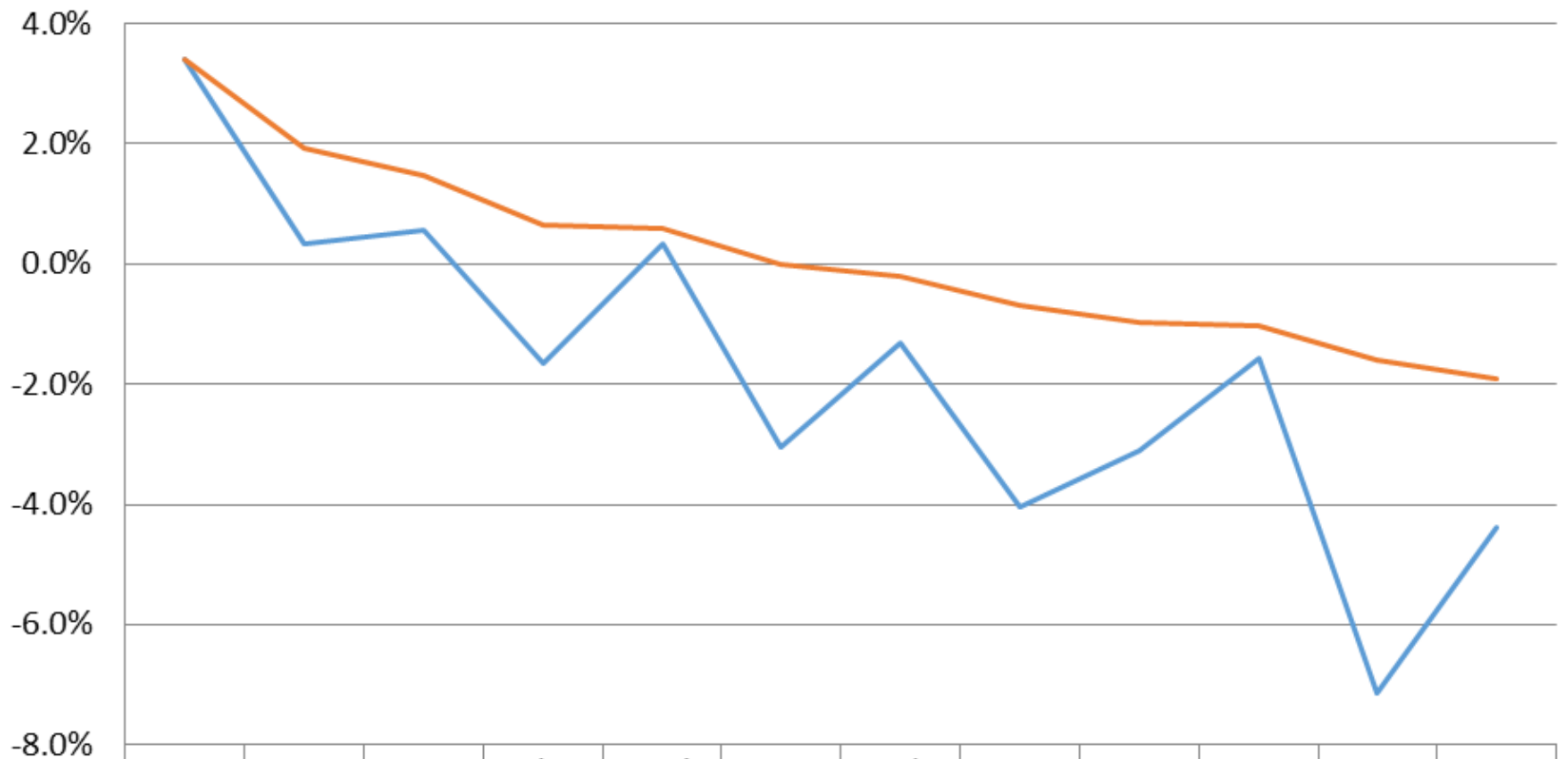
2015年度 スーパーマーケット売上前年比(名目)



	Jan	Fev	Mar	Abr	Mai	Jun	Jul	Ago	Set	Out	Nov	Dez
単月前年比	10.8%	8.1%	8.7%	6.4%	8.8%	5.6%	8.1%	5.1%	6.1%	8.2%	2.6%	5.8%
累計前年比	10.8%	9.5%	9.2%	8.5%	8.6%	8.1%	8.1%	7.7%	7.5%	7.6%	7.1%	7.0%

Source: Economic and research department - ABRAS

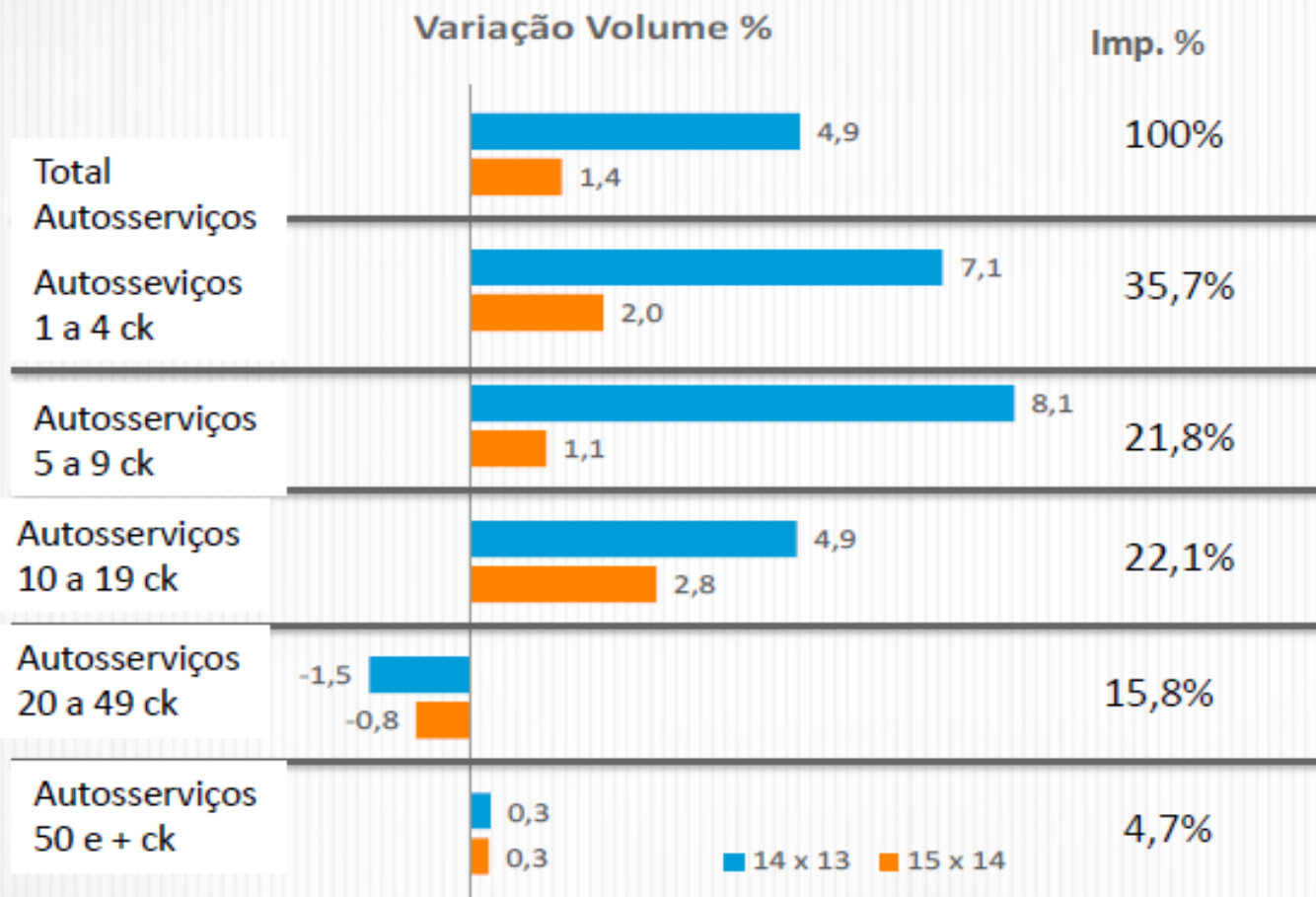
2015年度 スーパーマーケット売上前年比(実質)



	Jan	Fev	Mar	Abr	Mai	Jun	Jul	Ago	Set	Out	Nov	Dez
— 単月前年比	3.4%	0.4%	0.6%	-1.6%	0.3%	-3.0%	-1.3%	-4.0%	-3.1%	-1.6%	-7.1%	-4.4%
— 累計前年比	3.4%	1.9%	1.5%	0.7%	0.6%	0.0%	-0.2%	-0.7%	-1.0%	-1.0%	-1.6%	-1.9%

Source: Economic and research department - ABRAS

スーパーマーケットの取り扱い高(重量ベース)は 15年度になっても伸長



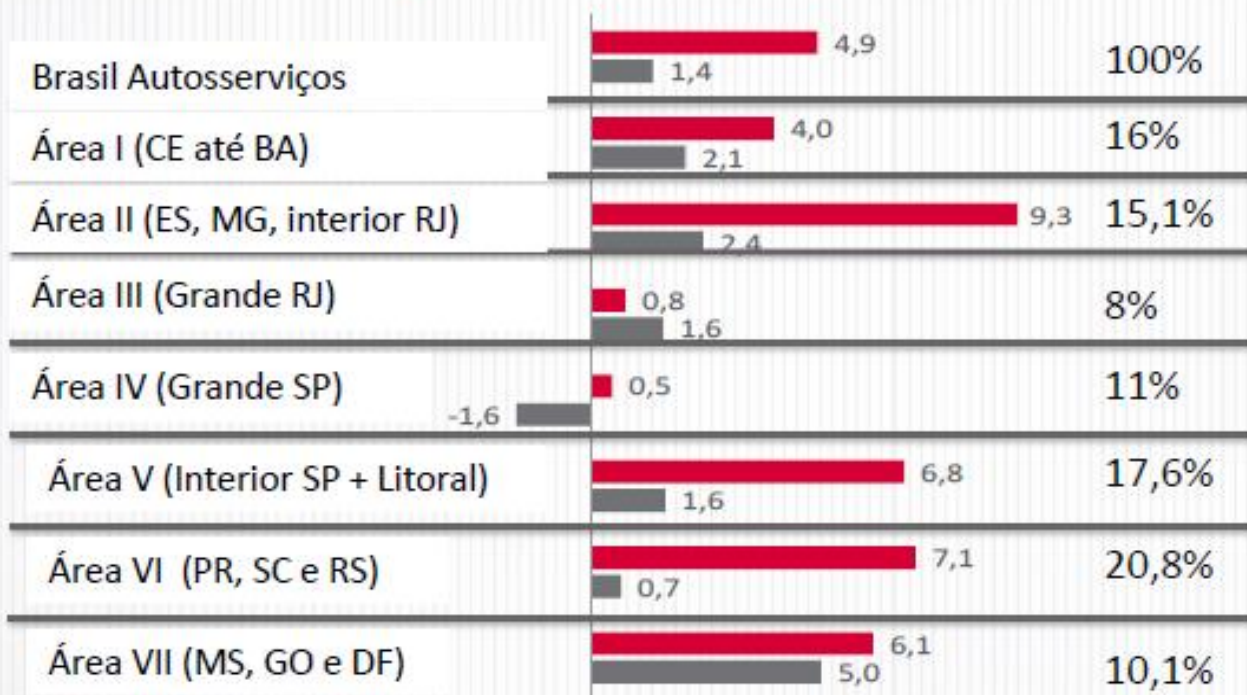
Variação de Volume e Preço – YTD15 x YTD14 (ASO15) – Total Brasil – TOTAL BRASIL COM EXPANSÃO
Base 135 Categorias de Produto (sem Cigarros) – Total Brasil – Fonte: Nielsen | Retail Index

全地域で取り扱い高の伸長率が前年から減少、 サンパウロ都市圏で最も顕著な減少

Variação Volume %

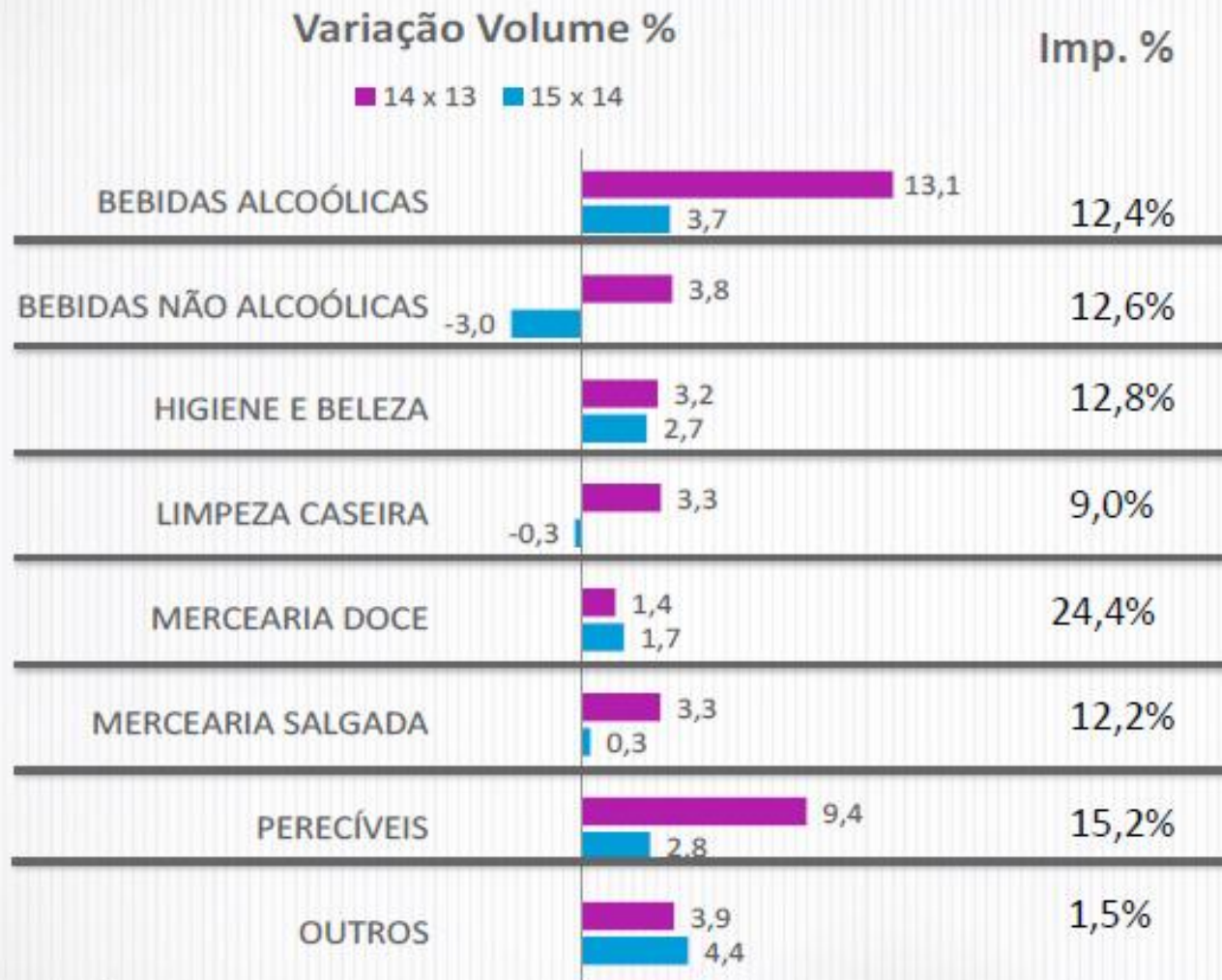
Imp. %

■ 14 x 13 ■ 15 x 14



Variação de Volume e Preço – YTD15 x YTD14 (ASO15) – Total Brasil – TOTAL BRASIL COM EXPANS
Base 135 Categorias de Produto (sem Cigarros) – Total Brasil – Fonte: Nielsen | Retail Index

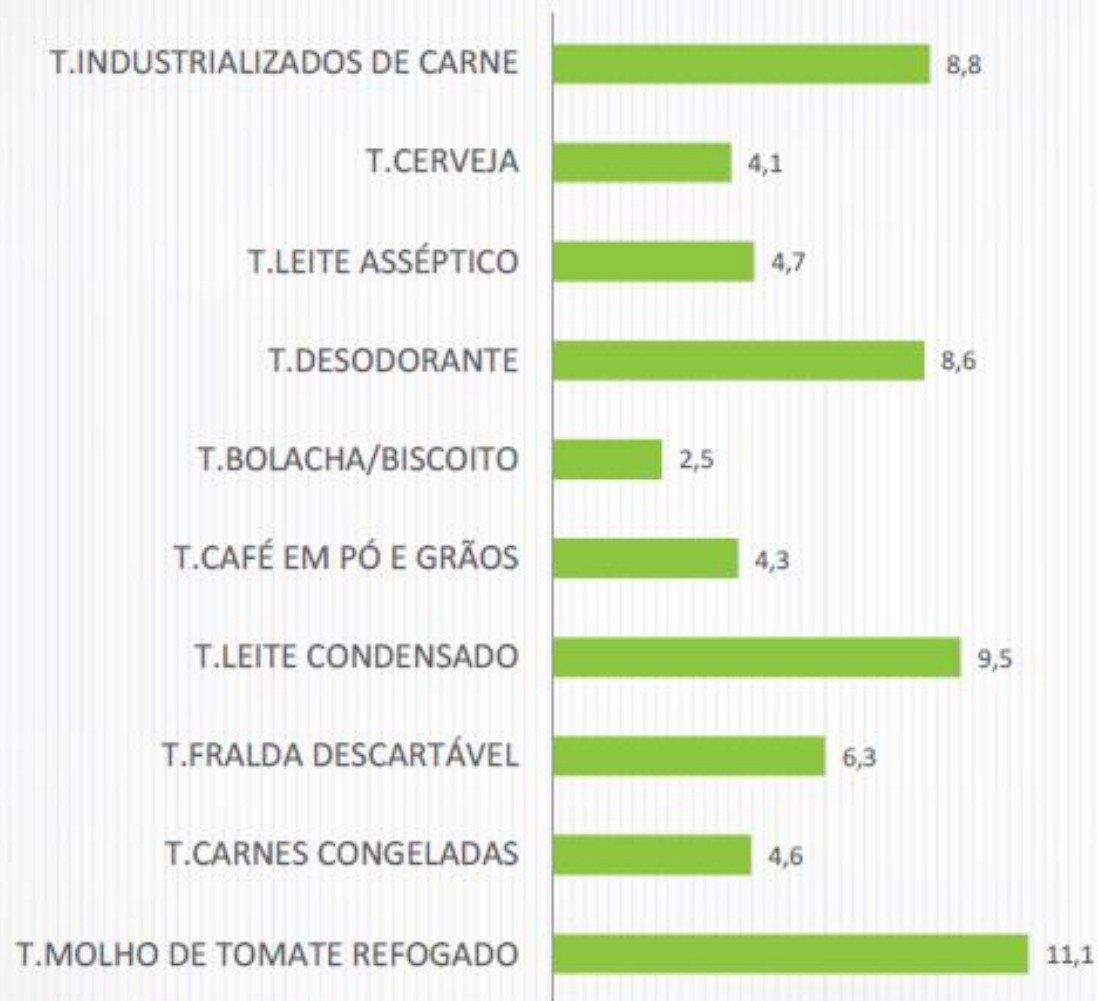
主要カテゴリーでの取り扱い高の伸長率 (前年比)



Variação Volume, Valor e Preço (YTD15 x YTD14 (FMA15)) – TOTAL BRASIL AUTOSSERVIÇO COM EXPANS

Fonte: Nielsen | Retail Index - base: 135 Categorias de Produtos (sem Cigarros)

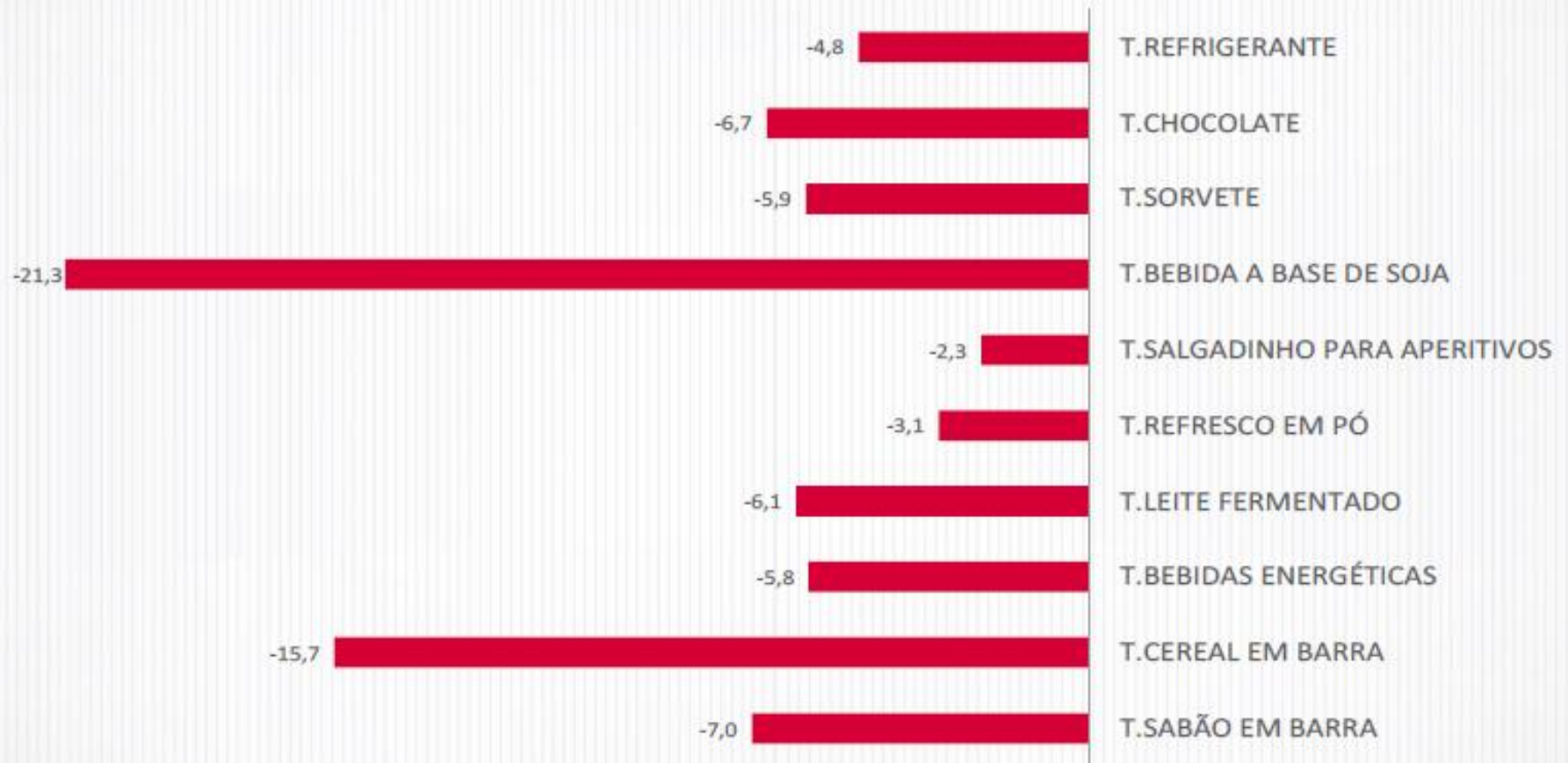
伸長している「TOP10」サブカテゴリー (前年比)



Top 10 Crescimentos (var.% > 2,0) YTD15 x YTD14 – Total Autosserviços Brasil

Ranking: Variação ponderada pela importância em faturamento das categorias para o Total Cestas - Fonte: Nielsen | Retail Index

減少している「TOP10」サブカテゴリー (前年比)



Top 10 Quedas (var. % < 2,0) YTD15 x YTD14 – Total Autosserviços Brasil

Ranking: Variação ponderada pela importância em faturamento das categorias para o Total Cestas - Fonte: Nielsen | Retail Index

2016年の展望

「景気低迷期だから見えてくるビジネス機会」

～経済回復期はいつか？日系企業はどう備えるか～

(1)消費マインドの低迷は当面継続すると想定。

⇒全体としては相対的に底堅い食品業界の特長を活かし、かつ消費者の動向や社会的変化を見据えた商品開発や市場開拓。

⇒この景気低迷域だから見えてくるビジネス機会を活かす。

例：好条件での投資。(人材、設備、広告等)

買収・提携などによる将来の成長への布石

2016年の展望

「景気低迷期だから見えてくるビジネス機会」

～経済回復期はいつか？日系企業はどう備えるか～

- (2) 様々な要因によるコスト上昇は継続する一方で、市場環境が厳しい中、販売価格への転嫁が困難で、短期的に収益が悪化することを想定。
⇒変化の時期を構造変化や体質強化のチャンスと見て取り組む

第二回日伯農業・食料対話に向けて

- ◆ 日時:2月29日～3月1日、場所:トカンチンス州の州都パルマス市
- ◆ 日本側参加者:企業20社30名、官20名 計50名(2/15時点)
- ◆ ブラジル側:アブレウ農務大臣に加え、マトピバ地域4州(マラニャン州、トカンチンス州、ピアウイ州、バイーア州)の州知事および連邦、州や市の関係者多数が出席予定(約500名を想定)
- ◆ 内容
 - ①ブラジルへの投資環境の改善・整備(日本提案)
 - ②インフラ・ロジスティック及びマトピバ地域開発(両国提案)
 - ③日本食の普及(日本提案)
 - ④伯の牛肉や穀物生産団体などから日本へプレゼン(ブラジル提案)
 - ⑤AGIR提言(発言者:松永委員長)外貨導入によるインフラ整備の促進

第二回日伯農業・食料対話に向けて

◆ 食品部会の対応

在ブラジル日本国大使館、CAMARA・政策対話委員会等と連携し、日伯農業・食料対話を通じた日伯関係強化と食品部会加盟会社の要請事項の実現に向け取り組み中。

食品部会からの提言事項(案)

1. Farm

- 食品加工に適した作物の検討
- 環境負荷の低く、品質に貢献できる技術

2. Harvest

- 収穫物の加工事業を通じた小規模農家への支援
- 残留農薬分析、農薬管理技術支援

3. Treatment

- 選別装置・センサーの技術(要請、支援)

4. Transportation …インフラ以外

- ICMS等加工工程での移動税免除による加工野菜事業の育成

5. Export/ Clients /Process

- 輸出許認可 簡素化
- 野菜加工技術の育成 / アレルゲン分析技術支援

食品部会からの提言事項(案)

1. Origin Country

- 日本の和牛の明確な定義づけ

2. Export

- 許認可のライセンス制、必要書類の簡素化による頻度高い商品流通

3. Custom

- 湾岸費用の軽減、通関検査などの迅速化による、製品価値の確保

4. Transportation

- ICMS減税措置の検討による、消費者への価値還元

5. Market

- 適切なブランド定義による、正しい製品認識とバラエティある市場形成